

家庭学習をやってみよう

～家庭学習に役立つヒント～

令和5年12月
府中市教育委員会

府中市では、児童・生徒一人一人が確かな学力を身に付け、これからの社会を主体的・創造的によりよく生きることができる力の育成を目指しています。児童・生徒の学びを一層豊かにし、生涯にわたって主体的に学習に取り組むことができる力を育成するためには、学校での学びと家庭での学びを結びつけることが大切です。

この度、令和5年度全国・学力学習状況調査（以下、令和5年度学力調査といいます。）の結果等を基に、児童・生徒が家庭学習で意識して取り組むと良いことや学習する際の具体的なポイントをまとめました。お子様が家庭で学習する際の参考にしてください。



令和5年度学力調査で課題のあった問題に挑戦！

次の文章中の下線部のひらがなを漢字に直す。

小学校国語

雑草取りを続けたのですが、①
いがいに雑草が生えてきてとても困りました。

中学校国語

・・・知っていることをもとに
「②おし量って考える」ことが
必要になる。・・・

漢字を文（文脈）の中で正しく使うことができるかどうかを見る問題です。

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

家庭学習のポイント 文章の中で漢字のもつ意味を考えて使うことを意識しよう！

漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが大切です。

低学年は、文や文章の中で漢字を読むことや意味を考えながら読むようにしましょう。

新しく習う漢字は、1・2年生で240字ですが、3・4年生では402字となっており、中学年では、漢字の使用が増えてきます。辞書を使って漢字の読みや意味などを自分で調べるようにしていきましょう。

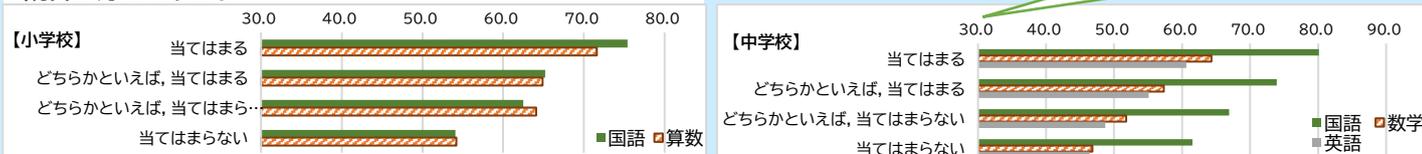
高学年は、同音異義語に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが大切です。

中学生は、実際に文章を書く中で、習っている漢字を意識的に使用することや漢字がもつ意味に留意すること、辞書を引く習慣を付けることも大切です。

こんなデータがあります

読書が好きと回答している児童・生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

読書が好きですか。



令和5年度学力調査の学習習慣等に関する質問への回答と学力調査における教科の平均正答率との関係（府中市の結果に基づく）

《グラフの見方》

「読書が好き」に当てはまると回答した生徒の国語の平均正答率は約80%です。

読書を通して、様々な知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることができます。文章を正しく理解したり、自分の考えを適切に表現したりする力を高めることにもつながります。市立図書館を活用したり、家族で同じ本を読んだりするなど、お子様と一緒に読書を楽しんでみてください。



小学校算数

テープを下のよう直線で切って、4つの四角形を作り、どのような四角形なのかを以下のようにまとめた。



㊸㊹㊺㊻はどれも です。
なぜなら だからです。

①、②に当てはまるものを選択する。

① 1 長方形 2 正方形 3 台形 4 平行四辺形 5 ひし形

② 6 向かい合った2組の辺が平行な四角形
7 向かい合った1組の辺が平行な四角形
8 4つの辺の長さが等しい四角形
9 向かい合った辺の長さが等しい四角形
10 向かい合った角の大きさが等しい四角形

中学校数学

中学生の水泳大会の結果をまとめた、下の表の に当てはまる値を答える。

女子50m自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	<input type="text" value="ア"/>
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

算数・数学の基本的な意味や考え方を理解しているかどうかを見る問題です。

6 ㊹ ㊻ ㊽

家庭学習のポイント 用語や公式はその意味や性質を理解するようにしよう！

算数・数学で使用する用語や公式などを知っているだけでなく、その意味や性質を理解し、問題を解く際に活用できるようになっていることが大切です。

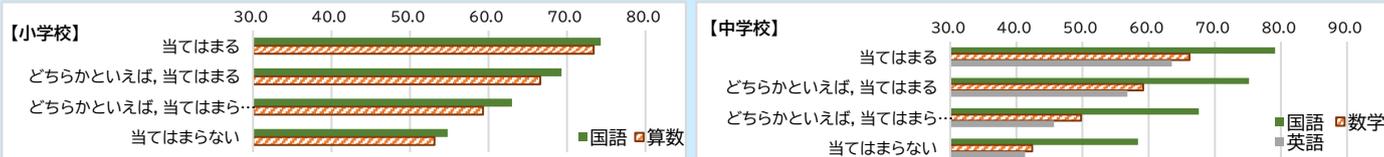
学校の授業では、考えたことを説明したり、日常生活と結び付けて考えたりするなど、児童・生徒の理解が深まるように工夫しています。家庭学習では、学校で学習した内容が定着するように、学習内容を振り返り、繰り返し練習問題に取り組んでみましょう。

タブレット端末で利用できるeライブラリアドバンスでは、「テーマ学習」のページから、一人一人の習熟に応じて、教科の系統別にスモールステップでおすすめの問題が出題されるので、自分に適した内容やペースで学習をすすめることができます。

こんなデータがあります

学習内容を見直し、次の学習につなげることができていると回答している児童・生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



令和5年度学力調査の学習習慣等に関する質問への回答と学力調査における教科の平均正答率との関係（府中市の結果に基づく）



お子様自身が、自分の分かったことや分からなかったことに気づき、自分で学習を進められるようになることが大切です。お子様の年齢や状況に応じて、どこが分かったか、分からなかったかを聞き、「何でこんな問題も分からないの」ではなく、どのように学習を進めていけばよいか一緒に考え、助言をしてあげてください。少しずつ、自分で考えて家庭学習を進められるようになっていくと思います。

外国語活動・外国語（英語）



令和5年度学力調査で課題のあった問題に挑戦！

中学校英語 話すこと

環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を1分間で考え、30秒で伝える。

【音声データ】

https://www.youtube.com/watch?v=cG_BvVwYc-g&t=1s



社会的な話題を聞いて、考えたことやその理由などを、話すことができるか見る問題です。

I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our action to protect environment like people in New Zealand.

正景亘



家庭学習のポイント



英語の表現に触れる機会をたくさん作ろう！

小学校段階では、英語の音声に慣れ親しむことが大切です。ラジオ・テレビ放送などで英語の番組を視聴することで、英語の音声になれることができます。

中学校では、小学校までの学びを踏まえ、英語をコミュニケーションの手段として、実際の場面で活用できるようにすることが求められています。そのためには、読む、聞く、書く、話すなどの学習の中で、繰り返し英語の表現に触れる必要があります。

家庭では、次に紹介するようなサイトを活用し、英語で聞いたことに対して自分の考えを書いたり、読んだことを基に自分の考えを話すことなどに取り組んでみてください。

《家庭学習の取組例》

【WEB サイト等のコンテンツを活用した家庭学習】

以下の動画コンテンツは、東京都教育委員会が作成したものです。英語でコミュニケーションを図る力を付けるための家庭学習の一つとして活用してみてください。



「Tokyo Global Studio」

▶ <https://www.tgs.metro.tokyo.lg.jp/>



小学校1年生から高校生までもを対象に、動画とワークシートが掲載されています。動画再生のスピードが変えられるので、自分の英語力に合わせて動画を見ることができます。

「中学校英語「話すこと」トレーニング」

▶ https://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/materials/jh_trainin



映像を見たり聴いたりしながら、スピーキングの練習に取り組むことができます。「テキストを音読する」「質問に答える・質問する」等の4つの課題があり、それぞれ3段階の難易度があります。

【eライブラリを活用した家庭学習】

お子様のタブレット端末の共通ブックマークから「OPE」をクリックし、「その他」のアイコンをクリックすると、eライブラリにアクセスして利用することができます。



【AI型ドリル】

教科書の単元（Unit）ごとに、問題があります。リスニングの問題や「いろいろカード帳」で単語を確認することもできます。

【プリント教材】

小・中学校の単元別プリントや高校入試過去問題などがあります。高校入試過去問題のリスニングに取り組むこともできます。



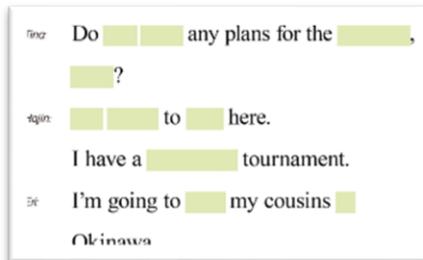
【デジタル教科書を活用した家庭学習】

児童・生徒のタブレット端末から、英語のデジタル教科書を使用することができます。様々な機能があるので、学校の授業の復習や家庭学習の一つとして活用してみてください。

- ①画面左下の「聞く」をクリックする。(A)
- ②音声の速さを自分に合わせて調整できます。(B)
- ③タブレット端末の機能を使って、自分の音読を録音し、聞き直したりネイティブスピーカーの発音と比較したりすることもできます。

- ①フラッシュカードをクリックすると、単語のみを音声付きで聞くことができます。(C)
- ②英語の後に日本語を表示したり、日本語の後に英語を表示したりするなど選ぶことができます。

- ①デジタル教科書には、本文を部分的に隠す機能（マスク機能）があります。
- ②隠す量を変えながら、リスニングを繰り返すことで、英語を聞く力を高めることができます。



【マスク機能の使い方】

- ①画面左上の「本文」(D) をクリックすると、本文のみが拡大して表示されます。
- ②画面左下「マスク」から「ランダム」「全文」のどちらかをクリックします。

こんなデータがあります

学校の授業以外で英語を使う機会があったと回答している生徒ほど、英語の平均正答率が高い傾向にあります。

これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)



※小学校は英語の学力調査を行っていないため、小学校についてはデータを示していない。中学校については、質問への回答と学力調査における英語の平均正答率との関係を示している(府中市の結果に基づく)

府中市教育委員会では、夏季休業中に小・中学生を対象に、外国人と英語でコミュニケーションを取りながら楽しく学ぶことのできる体験活動を実施しています。このような機会をぜひご活用ください。

